

# 坂出市に対する思い

私は、1964年（昭和39年）に元町名店街の中にはあった松尾産婦人科医院（AI研究の第一人者、松尾 豊 教授のご実家）で生まれました。実家が、商店街でカメラ店を営んでいた事もあり、商店街全体が子供の頃の遊び場でした。心から坂出市に生まれてよかったですと感じて育ちました。

現在、坂出市の子供たちはどう感じているのでしょうか？私が、子供の頃に感じた思いは同じでないように感じます。時代は40年前とは大きく変化し、そのように感じるのも仕方がないのかもしれません。しかしながら、まちにとつて大切なことにきちんと投資をしていくことで、そここの住む市民の皆様の気持ちは前向きに変化していくと思います。

私は、坂出市が、中四国で一番、子育てのしやすいまちを目指すべきだと思います。坂出に住んでよかったです、また坂出に住んでみたいと思う方が増えることで、まちは活性化し元気になると確信します。

「子育てしやすいまち坂出」を目指し、全力をあげて取り組んで参ります。

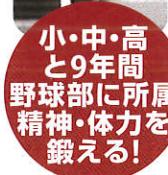


# 小笠原 浩

おがさわら ひろし  
プロフィール



1964年  
坂出市元町に生まれる。



1980年  
香川大学教育学部  
附属坂出中学校 卒業



1983年  
香川県立  
丸亀高等学校 卒業  
(野球部所属)



1987年  
武蔵大学人文学部社会学科 卒業

1989年  
父親の病気のため、  
帰郷し家業（カメラ店）を継ぐ

現在  
衆議院議員 玉木 雄一郎  
公設第一秘書



私も小笠原さんを  
応援しています。  
ぜひ、皆様の力を  
お貸しください。

国民党 代表  
衆議院議員 玉木 雄一郎

後援会

〒762-0003 坂出市久米町1丁目15-60 #211  
090-3264-9318  
hiroshi@mail.kbn.ne.jp

# おがさわら 浩 ひろし

坂出のために  
前に前に向って、  
一步一歩。

# 住んでよかつた、住みたいと思うまち坂出へ

坂出のために  
前に前に向って。  
一歩一歩。



## コロナ対策

- コロナにより影響を受けた事業者やそこで働く皆様が、**安心できる支援策の充実**に取り組みます。
- 坂出市立病院をはじめとする、コロナ対応にご尽力をいただいている**医療関係者の皆様と医療体制を守る**ために全力をあげます。



## まちの新しい価値の創造

- 中四国一子育てのしやすいまちを目指し、**子育て環境の整備と支援策の充実**に取り組みます。
- お年寄りが住みやすいまちをつくるため、**充実した福祉政策**を提案します。
- 讀岐ジオパーク構想が実現できるように取り組み、  
その中心である**坂出市の観光振興と教育の充実**  
[ジオ学(地元学)の学校教育への導入]に尽力いたします。
- 坂出駅前・坂出港の整備を充実させ、四国の交通の要所である  
**坂出市の人的・物流の拠点**としての価値を高められるよう尽力いたします。
- 近年多発する大型台風や南海トラフ地震に備えて、  
**災害に強いまちづくり**に取り組みます。



おがさわら 浩  
ひろし